

劇物⑫ 20%水酸化ナトリウム
※ ヌルヌルした液なので
ビーカーの外側などに
つくとすべり易い。
手についたときは多量
の水で洗う。

⑬ 二酸化マンガン

⑭ ほう酸(粉末)

劇物⑮ アンモニア水(28%)

劇物⑯ 10%アンモニア水

⑰ 炭酸ナトリウム(無水)

⑱ 炭酸アンモニウム

第2群 有機化合物

① エタノール(99.5%)

劇物② 燃料アルコール

③ 氷酢酸

④ 10%酢酸

指でつまんだりさせないように厳重注意する。ひょう量はビーカーで行う(420)上ざら天びんに200cm³のビーカーをのせて水酸化ナトリウム100gを測りとる。500cm³のビーカーに水400cm³を入れておき、ガラス棒でかきまぜながら10回位に分けて水酸化ナトリウムを溶かしてゆく。溶液は発熱してくるので特に手などに触れないよう注意する。自然に冷却してからポリ容器に保管する。(ガラス瓶のときはゴム栓でフタをししないと栓がとれなくなる)

酸素発生用 (430)

物の溶け方 (400)

栓をあけるととき刺激臭がでるので顔を近づけないで、また栓の上を手ねぐいなどをかぶせて行う。(340)

水300cm³の中に28%アンモニア水200cm³を注入し混合する。

水溶液の性質

感光紙現像液用 (後述)(450)

リトマス紙保存用(後述)(330)

水溶液の性質, プレパラート作成
(1500)

アルコールランプ用 (350)

メタノールよりは変性エタノールの方が沸点高く安全である。数本は必要。

冬は結晶となる。(430)

水450cm³に氷酢酸50cm³を注入しかきまぜ